

## 話題①：医師は多才な人が多い

医師には多才な人が多い。作家、ピアニスト、漫画家、登山家、宇宙飛行士etc。医師としての職務を全うするだけでも大変なのに2足も3足もの草鞋を履いてご活躍されている方々を拝見するたびに感銘を受ける。時代はさかのぼるが、特に印象深いのはトマス・ヤングである。高校生の時に「ヤング率」で名前を知ったが、その後に「光の波動説」の提唱者でもあることを知りとても驚いた。しかも医師として「眼の焦点調節原理」の研究に従事し、そこから光学研究へと向かい、光の干渉現象から波動説を主張するに至ったとのことであるから本当に凄い。18～19世紀という時代背景もあったではあろうが、学問は分野を超えて全て繋がっていることを再認識するとともに「極めることとはこういうことか...」と本当に圧倒された。

## 話題②：私のチャレンジ

還暦を過ぎた頃から人生には限りがあることを意識しながら生活するようになった。「いつかやろう」と思いながら先延ばしにしてきたことにも「そろそろ本気で取り組もう」と思い始めている。最近、再チャレンジしていることが2つある。1つはピアノである。これまで細々と編曲や作曲をしていたが、今夏から本格的にピアノを学び直している。孤独に苦しんでいる人の声になりたいとの思いから曲を作り始めたが、技術が伴わず発信できずにいた。演奏技術を基礎から学び直して丁寧に積み上げていくことで「伝わる音」を作っていきたいと考えている。もう1つは宇宙についてである。以前から万有斥力と磁気モノポールの存在を仮定して宇宙方程式を書き直してみたいと思っていた。これらを仮定すれば超対称性粒子の存在を想定しなくても観測データと矛盾なく宇宙をシンプルな数式で表現できると感じている。しかし数学的能力が不足してためこの問題を放置してきた。細々とではあるが解析学を学び直して「美しい方程式」を作り上げる作業に取り組んでいる。ワークライフバランスを整えるためにもこの2つのチャレンジは私にとって大切なものとなっている。